

初めての方、大歓迎!

1日かけてじっくり勉強してみませんか?

こうすればおもしろい理科の授業!

—自然科学を学ぶ楽しさを子どもたちと—



2011年度



科教協東京支部 秋の研究集会



小学校の教科書が新しくなりました。これだけは教えたい基礎的内容を学び合います。
すぐに使える単元プランやわかりやすい実験を紹介します。
事前申し込みはいりません。どなたでも参加できます。

- 会 場:江東区立東陽小学校(地図参照)
- 日 時:10月16日(日) 10:00~16:00(受付開始 9:30)
- 参加費:2,000円(科教協会員 1,500円 学生 1,000円)当日払い
※半日参加は1,000円
- 主 催:科学教育研究協議会 東京支部

プログラム

10:00~12:30 分科会(午前の部)
12:30~13:30 昼食休憩
13:30~16:00 分科会(午後の部)

■ 科学教育研究協議会(科教協)は1954年設立の民間教育研究団体です

科教協は「自然科学をすべての国民のものに」をスローガンに、自然科学が楽しくわかる理科授業の創造をめざす教育研究団体です。創立以来、全国の教師や研究者など、幅広い人々の手によって研究と運動を発展させてきました。月刊誌「理科教室」を編集し、日本標準より出版しています。

■ 都内各地にある理科サークルに参加してみませんか?

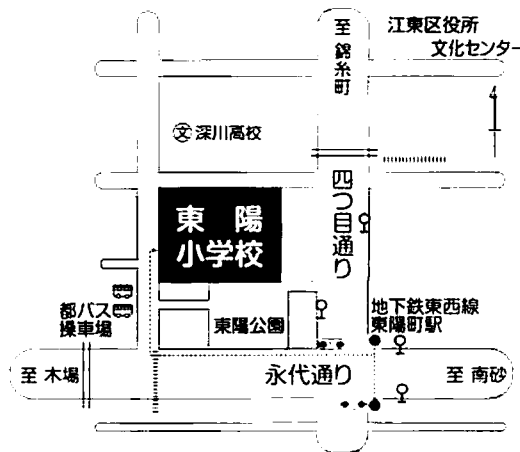
都内各地には、理科の授業について学び合う理科サークルがたくさんあります。研究授業や指導計画や実験について気楽に学べます。是非、一度気軽に参加してみませんか?

※研究集会会場で、都内のサークル一覧を配布します。

2010年度 秋の研究集会参加者の感想から

好評につき、毎回、参加者増加中!

- 2年生でおもちゃ作りをさせたときに、グループでの活動が主体で、1人1人のやる事が明確になっていませんでした。まず、目標を明確にし、ゴムの動きや音の出方など、科学的な力をつけていけるよう、授業を作っていきたいと思いました。ありがとうございました。(低学年分科会 30代 初参加の方)
- これから水溶液の単元に入るので、とても参考になった。何を重視して授業を展開すれば良いか、力を入れるところや子どもの興味関心が高いところをそれぞれ知ることができた。(6年生分科会 20代 初参加の方)
- 高校の化学も、学習のつながりを意識してどう授業をつくるのかを視点に置いて、勉強になりました。中学校で、どこまでやっておくべきかを考え直す機会になりました。(化学分科会 20代 2回目の方)
- ブタの目の解剖を授業で実践したいと考えていたのでとても勉強になった。他の実験も詳しく聞きたい。(生物分科会 20代 初参加の方)



〈問い合わせ〉科教協東京支部 事務局長 高鷹 敦(こうたかあつし)
〒124-0012 葛飾区立石8-6-1-802 e-mail green31-kohtaka@m2.gyao.ne.jp
科教協東京支部HP <http://t-tokyosibu.net/>

科教協東京支部 秋の研究集会 分科会一覧

11月～3月にかけての授業について、楽しくよくわかる授業プラン、その単元で大切なことは何か、教科書よりよくわかる実験紹介など、一緒に学びましょう。

分科会	分科会内容
小学校低学年 幼児 (図書室)	(午前)①「しぜんのたより」/新部 裕美子さん(東京小学校理科研究会) サークルで教えてもらって実践したら、子どもたちが成長しました。さらに発展させる方法を考えてみましょう。 ②「鉄さがし」(1年) 高鷹 美恵子さん(葛飾理科サークル) 磁石を手にするだけで、鉄か、鉄以外か見分けられる、わくわくした授業。生き物以外の自然にも動きかけを! (午後)③「音をつくろう」 佐々木 仁さん(東京小学校理科研究会) 教科書にも楽器のおもちゃが出てきますが、もっと楽しく本質的な事実を体験ができる授業を!作り方や実演も。
小学校 3年 (第二音楽室)	(午前)①楽しく学び会える理科後期の授業/堀 雅敏さん(中央沿線理科サークル) 年間指導計画の後期部分をもとに、大切にしたい内容やよくわかる教材を紹介しします。 ②「磁石」 高鷹 敦さん(足立理科サークル) 磁石は子どもにとって魅力的ですが、次第に論理的な追求もできるようになるこの時期にどのような授業を? (午後)③「物の重さ」/小幡 勝さん(多摩川理科サークル) 物の重さは科学の最も基礎的な知識。算数とも関連させて、楽しく学びながら使える知識にするには?
小学校 4年 (図工室)	(午前)①後半の大事にしたい単元と教科書の内容 高橋 洋さん(北区理科サークル) 後半の内容を概観し、単元間のつながりを考えます。また、教科書に取りあげられている実験や発展の扱いなどについても紹介しします。 ②「物の体積」の授業 野末 淳さん(埼玉小学校サークル) (午後)③「物の体積」の授業記録をレポートしします。授業プランと授業の様子、教材などを紹介しします。 ④「物の温度と体積」 小山 圭子さん 「物の温度と体積」のプランを発表しします。課題提示や実験の方法などなど、いろいろなアドバイスをお願いします。
小学校 5年 (のびのびルーム)	(午前)①5年後半のおもな内容と「天気の変化」 小佐野 正樹さん(足立理科サークル) 5年生でこれから学習する内容でたいじにしたいことと「天気の変化」をどうしたらよいか、提案しします。 (午後)②「電磁石のはたらき」 藤倉 敦子さん(東京小学校理科研究会) 4年生までの磁石学習を使い、課題をもとに話し合いながら進める電磁石の学習を提案しします ③「もののとけ方」 宮崎 亘さん(八王子市立南大沢小学校) 物が水に溶けるとはどういうことかを学ぶ授業を、実験を交えながら紹介しします。
小学校 6年 (家庭科室) できればご持参ください 1 古タオル、新聞紙 4 実験で使う試薬見本を欲しい方は、小さな容器をご持参ください	(午前)①「土地のつくり」 佐藤 完二さん(板橋・練馬理科サークル) 野外観察なし。学校の土を焼いて、篩って、地料を作ります。東京都の地形と地震・防災の学習もします。 ②「てこのはたらき」 前田 幹雄さん(法政サークル) 小さな力で重いものを動かすことができる「てこ」のおもしろさを実感できる実験を紹介しします。 (午後)③「電気の利用」 児玉 久美子さん(東京小学校理科研究会) 金属線は電気が流れると発熱、発光することを子どもたちにとらえさせるプランを提案しします。 ④「水溶液の性質」 佐久間 徹さん(多摩川理科サークル) 何か水に溶けて「水溶液」となります。単元の全課題と酸の様々な作用を調べる重要な実験を実際に試します。
物 理 学 (会議室)	(午前)①「放射線とその影響」 小沢 洋一さん(仮説実験授業研究会) 仮説実験授業研究会の山本海行氏<放射線とシーベルト>を厚井眞哉氏が改訂された小学校高学年～大人向けの授業プランです。放射線の基礎的な内容を学ぶことができます。 ②「浮力」 斉藤 美苗さん(生物学教育研究サークル) (午後) 中1で「浮力」を教えた例を報告しながら、実験の中身や、中3で扱ったらどうなのか、など考え合いたい。 ③ 中学1年「地震と津波の学習」 吉村 成公さん(中央沿線理科サークル) 3月11日以降に行った中学1年「地震の授業」の報告と新たな授業の提案を、実験をまじえて行います。
化 学 (視聴覚室)	(午前)① 中学1年「物質の性質」/小俣 裕子さん(埼玉理化サークル) 中学1年のスタートを切っておこなった物質学習。そして、植物学習のあとにおこなった密度の学習の実践記録報告です。 ② 高校1年「わたしの工夫～高校化学実験」 菊池 みどりさん(アルケミストの会) (午後) 高校、化学変化の導入です。生徒自身が実験を通して、本質的な内容を実感を伴って理解できるように工夫しました。 ③「自然科学の授業を創造しよう」 松井 吉之助さん(中学校理科サークル) 理科は自然科学を教える教科である。自然科学の授業をつくる原則とは何か、科教協の研究、実践の成果に学びあひましよう。
生 物 (理科室)	(午前)① 高校必修生物「生物体をつくる物質」 山崎 慶太さん(和光中学・高等学校) 高校必修生物の最初の単元として、中学校の有機物学習の復習も兼ねて、糖質・脂質・タンパク質の基礎的な学習を行っています。実験も紹介しながら、実践報告をします。 (午後)②「足尾銅山と生態系復元工事を学ぶ理科」 鷹取 健さん(生物学教育研究サークル) 中学3年「自然と人間」の学習では銅製錬と緑化工事の実際をみていくことで内容の充実の方向が見えてきます。そのための指導案を提出しします。
障 害 児・者 (仲よし2組)	(午前)①「楽しい理科実験や教材がいっぱい」 黒田 健次さん(群馬理科サークル) 鏡を使った不思議な世界。長い、長い回路で電球を光らせる。など、沢山の楽しい実験、教材を紹介しします。 (午後)②「子どもたちが写真を見て綴ったこと」 井本 暁子さん(江東授業づくりサークル) 自分で写真を選び、思い出し、自分の言葉で綴った子どもたち。 ③「空気の学習」 熊倉 俊洋さん(江東授業づくりサークル) 袋に穴を開けたら?底を切ったペットボトルの中には何かがあるか?授業の様子や子どもたちが考えたことを授業記録で報告しします。